

Ⅲ 鹿児島市の商工観光概況

1 鹿児島市の概況

(1) 人口及び世帯数

○市域の変遷

事項	年月日	編入新設合併 市町村名	面積(km ²)	人口(人)	人口密度 (人/km ²)
市制施行	明治22. 4. 1	鹿児島市	14.03	57,822	4,121
埋立新設	明治39.11.19	洲崎	14.11	59,784	4,237
第1次編入	明治44. 9.30	草牟田・武	15.91	73,085	4,594
第2次編入	大正 9.10. 1	原良・永吉・玉里	16.73	103,180	6,167
第3次編入	昭和 9. 8. 1	中郡宇村・吉野村 西武田村	78.25	176,900	2,261
第4次編入	昭和25.10. 1	伊敷村・東桜島村	181.54	229,462	1,264
新設合併	昭和42. 4.29	鹿児島市・谷山市	279.15	385,866	1,382
第5次編入	平成16.11. 1	吉田町・桜島町 喜入町・松元町 郡山町	546.80	605,308	1,107

○人口及び世帯数の推移

区分	平成7年		平成12年		平成17年		
		伸び率		伸び率		伸び率	
鹿児島市	総人口	546,282	1.8 %	552,098	1.1 %	604,367	9.5 %
	男	255,999	1.5	258,135	0.8	281,389	9.0
	女	290,283	2.0	293,963	1.3	322,978	9.9
	世帯数	215,140	7.0	229,064	6.5	255,276	11.4
鹿児島県	総人口	1,794,224	▲ 0.2	1,786,194	▲ 0.4	1,753,179	▲ 1.8
	男	840,980	▲ 0.2	837,979	▲ 0.4	819,646	▲ 2.2
	女	953,244	▲ 0.2	948,215	▲ 0.5	933,533	▲ 1.5
	世帯数	688,646	4.4	716,610	4.1	725,045	1.2

資料：国勢調査

(2) 産業別事業所数・就業者数

○産業別事業所数の推移 (平成16年11月1日合併後の鹿児島市域のもの。平成13年は新産業分類に組み替えた数値)

区 分		平成13年		平成16年		平成18年	
			構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)
総 数		31,140	100.0	28,844	100.0	29,721	100.0
第1次	農林漁業	58	0.2	57	0.2	61	0.2
第2次	鉱業	22	0.1	12	0.0	10	0.0
	建設業	2,802	9.0	2,600	9.0	2,542	8.6
	製造業	1,493	4.8	1,422	4.9	1,331	4.5
第3次	電気・ガス・ 熱供給・水道業	31	0.1	15	0.0	28	0.1
	運輸・通信業	1,125	3.6	998	3.5	1,080	3.6
	卸売・小売業、 飲食店・宿泊業	14,085	45.2	13,030	45.2	12,987	43.7
	金融・保険業	649	2.1	595	2.1	570	1.9
	不動産業	1,632	5.2	1,581	5.5	1,548	5.2
	サービス業	9,067	29.1	8,534	29.6	9,409	31.7
	公務	176	0.6	0	0.0	155	0.5

各年10月1日現在(平成16年は6月1日現在で民間事業所のみ) 資料:事業所・企業統計調査

○産業別就業者数の推移 (平成16年11月1日合併後の鹿児島市域のもの)

区 分		平成13年		平成16年		平成18年	
			構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)
鹿児島市	第1次産業	577	0.2	538	0.2	626	0.2
	第2次産業	44,254	15.7	40,356	16.6	39,745	14.3
	第3次産業	236,517	84.1	203,014	83.2	237,863	85.5
	計	281,348	100.0	243,908	100.0	278,234	100.0
鹿児島県	第1次産業	11,063	1.6	9,746	1.6	9,980	1.4
	第2次産業	176,288	24.6	156,823	25.2	149,358	20.9
	第3次産業	528,272	73.8	454,955	73.2	556,285	77.7
	計	715,623	100.0	621,524	100.0	715,623	100.0

各年10月1日現在(平成16年は6月1日現在で民間事業所のみ) 資料:事業所・企業統計調査

(3) 総生産

○総生産額(平成16年度) (数値は平成16年11月1日合併後の鹿児島市域のもの)

区分	金額(千円)	構成比(%)
第1次産業	9,726,971	0.5
第2次産業	236,947,785	12.5
第3次産業	1,717,851,442	90.5
輸入品に課される税・関税	16,320,472	0.9
(控除)総資本形成に係る消費税	(10,172,340)	(0.5)
(控除)帰属利子	(71,694,171)	(3.8)
計	1,898,980,159	100.0

資料:鹿児島市統計書(平成19年版)

(4) 所得

○人口1人当たりの市民・県民・国民所得比較 (数値は平成16年11月1日合併後の鹿児島市域のもの)

	平成14年度		平成15年度		平成16年度	
市民所得	2,719,719 円	97.4	2,733,499 円	97.4	2,677,427 円	94.7
県民所得	2,232,852	80.0	2,224,912	79.3	2,215,450	78.4
国民所得	2,791,737	100	2,807,080	100	2,826,063	100

資料:鹿児島市統計書(平成19年版)

(5) 土地利用

本市の面積は平成19年4月1日現在で546.96km²で、市資産税課の概要調書によると平成19年度における地目別面積は、田・畑72.9km²(13.3%)、宅地70.6km²(12.9%)、山林・原野188.7km²(34.5%)、雑種地27.9km²(5.1%)、その他186.7km²(34.2%)となっている。

都市計画の用途地域は平成18年7月7日現在で、第一種・第二種住居専用地域、住居地域及び準住居地域が75.6%、近隣商業地域及び商業地域が9.2%、準工業地域、工業地域及び工業専用地域が15.2%となっている。

(6) 交通体系

陸上交通として、鉄道のJR鹿児島本線、日豊本線、指宿枕崎線、基幹道路の九州縦貫自動車道、南九州西回り自動車道、国道3号、10号、225号等がある。

さらに、平成16年3月13日には、九州新幹線鹿児島中央～新八代間が開業し、福岡方面への交通アクセス利便性が向上している。

海上交通としては、沖縄や奄美大島等の各離島航路の他、本市と桜島、垂水市を結ぶ近距離フェリー、種子島・屋久島を結ぶ高速旅客船が就航している。

南九州の拠点空港である鹿児島空港には国際旅客ターミナルが開設され、上海やソウルを結ぶ国際線が就航している。

都市内交通機関としては、主に路面電車、バス、鉄道があり、また、福岡、大阪方面への長距離バスも運行されている。

2 市融資制度 融資実行実績

(単位:千円)

年度 制度別	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度		
	件数	前年比 (%)	金額	件数	前年比 (%)	金額	件数	前年比 (%)	金額	件数	前年比 (%)	金額	件数	前年比 (%)	金額
小口資金	1,049	117.7	4,449,810	1,068	101.8	4,326,120	1,069	100.1	4,547,940	1,217	113.8	5,566,360	1,380	113.4	6,192,738
中口資金	268	152.3	3,876,248	300	111.9	4,499,760	285	95.0	4,589,400	375	131.6	5,809,600	437	116.5	6,969,450
設備整備資金	4	200.0	58,000	2	50.0	45,000	1	50.0	5000	2	200.0	25,760	0	0.0	0
災害対策資金	0	—	0	2	—	22,000	0	—	0	1	—	15,000	0	—	0
(公害防止資金) H19.4~ 環境配慮促進資金	0	—	0	0	—	0	0	—	0	0	—	0	3	—	13,900
創業支援資金	28	127.3	107,850	23	82.1	109,400	14	60.9	57,600	22	157.1	86,200	36	163.6	146,100
季節資金	18	75.0	65,300	36	200.0	127,700	32	88.9	121,700	31	96.9	89,400	40	129.0	125,800
大島紬緊急救済 対策資金	50	80.6	86,399	68	136.0	150,198	92	135.3	175,093	118	128.3	243,124	150	127.1	309,458
協同組合等 活性化資金	2	100.0	120,000	2	100.0	120,000	2	100.0	120,000	3	150.0	180,000	0	0.0	0
合計	1,419	120.4	8,763,607	1,501	105.8	9,400,178	1,495	99.6	9,616,733	1,769	118.3	12,015,444	2,046	115.7	13,757,446

3 雇用の現況

(1) 年齢階級別完全失業率の推移

(単位:%)

年	完 全 失 業 率												
	計	15~ 19歳	20~ 24歳	25~ 29歳	30~ 34歳	35~ 39歳	40~ 44歳	45~ 49歳	50~ 54歳	55~ 59歳	60~ 64歳	65歳 以上	
国	15	5.3	11.9	9.8	7.0	5.5	4.6	3.6	3.6	3.7	4.5	7.5	2.5
	16	4.7	11.7	9.0	6.4	5.0	4.4	3.5	3.1	3.5	3.7	5.7	2.0
	17	4.4	10.2	8.4	6.2	5.0	4.1	3.6	2.9	3.2	3.6	4.9	2.0
	18	4.1	9.4	7.7	6.0	4.6	3.7	3.1	2.9	3.1	3.5	4.5	2.1
	19	3.9	8.7	7.5	5.7	4.2	3.7	3.0	2.7	2.8	3.0	3.9	1.8
県	15	5.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	16	4.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	17	4.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	18	4.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	19	4.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※県の完全失業率は試算値。

資料:総務省統計局「労働力調査」

(2) 一般職業紹介状況

(単位:人)

年度	求 職 者 数		求 人 数		紹介件数	就職件数 (E)	新規 求人倍率 (C)/(A)	月間有効 求人倍率 (D)/(B)	就職率(% (E)/(B)	
	新 求 職 者 数 (A)	規 月 間 有 効 求 職 者 数 (B)	新 求 人 数 (C)	規 月 間 有 効 求 人 数 (D)						
鹿 児 島 公 共 職 業 安 定 所 管 内	15	41,340	164,044	31,702	80,433	59,526	10,895	0.77	0.49	6.6
	16	41,271	170,680	40,303	103,418	61,309	12,223	0.98	0.61	7.2
	17	44,684	173,375	44,864	113,179	67,452	12,683	1.00	0.65	7.3
	18	47,063	179,547	51,319	127,833	69,476	13,121	1.09	0.71	7.3
	19	46,861	183,920	49,772	128,239	74,168	12,825	1.06	0.70	7.0

資料:鹿児島公共職業安定所

※ 新規学卒を除き、パートタイムを含む。(求人数の総数については共用を含む。)

4 商業の現況

(1) 商業全般

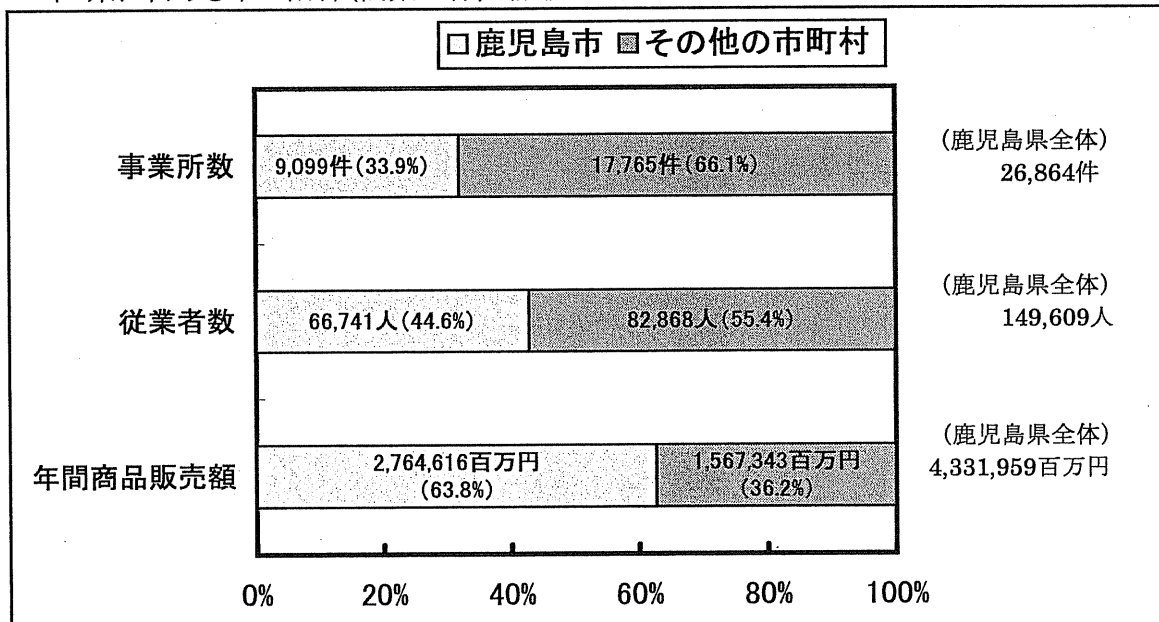
ア 事業所数、従業者数及び年間商品販売額の割合

(数値は平成16年11月1日合併後の鹿児島市域のもの)

区分	事業所数		従業者数		年間商品販売額	
	(件)	構成比(%)	(人)	構成比(%)	(百万円)	構成比(%)
商業全体	9,099	100.0	66,741	100.0	2,764,616	100.0
卸売業	2,546	28.0	26,046	39.0	2,062,073	74.6
小売業	6,553	72.0	40,695	61.0	702,543	25.4

資料:平成14年商業統計

イ 県に占める市の割合(商業全体) (数値は平成16年11月1日合併後の鹿児島市域のもの)



(2) 卸売業

ア 業種別割合

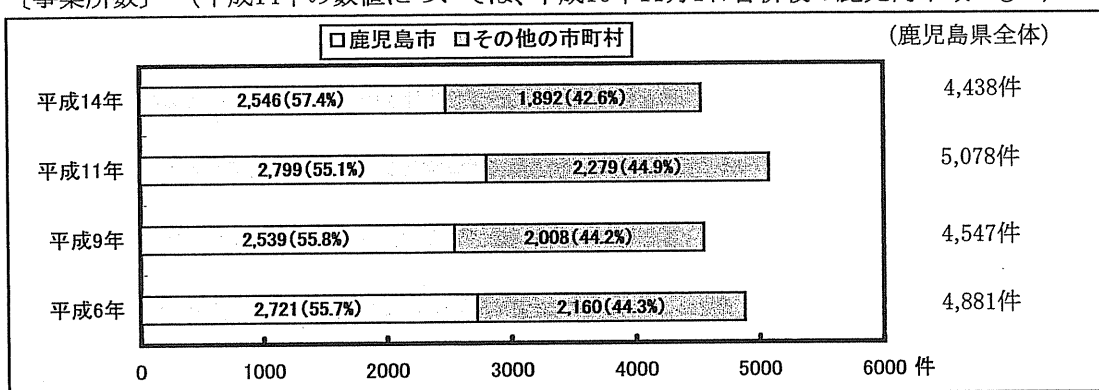
(数値は、平成16年11月1日合併後の鹿児島市域のもの)

区 分	事業所数 (件)	構成比 (%)	従業者数 (人)	構成比 (%)	年間商品販売額 (百万円)	構成比 (%)
各種商品	7	0.3	151	0.6	11,450	0.5
繊維・衣類等	104	4.1	966	3.7	28,435	1.4
飲食料品	615	24.1	8,001	30.7	958,269	46.5
建築材料・鉱物金属材料等	501	19.7	4,214	16.2	325,350	15.8
機械器具	718	28.2	6,684	25.7	357,486	17.3
その他の卸売業	601	23.6	6,030	23.1	381,082	18.5
計	2,546	100.0	26,046	100.0	2,062,072	100.0

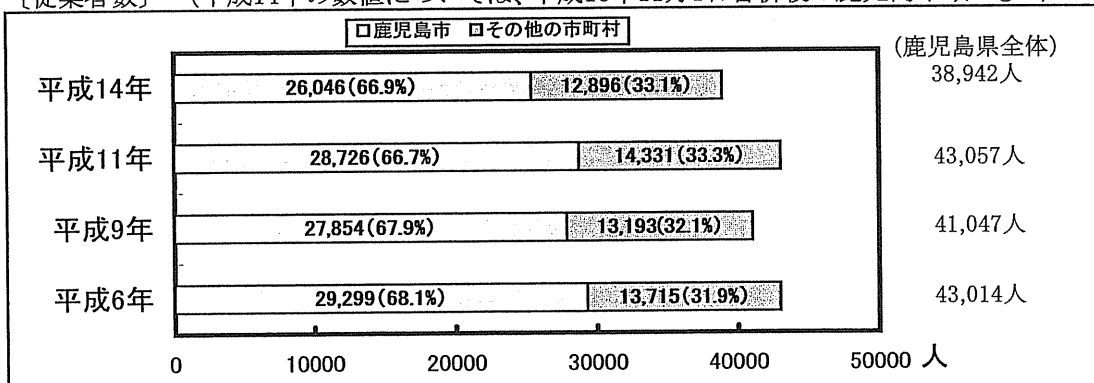
資料：平成14年商業統計

イ 県に占める市の割合の推移(卸売業)

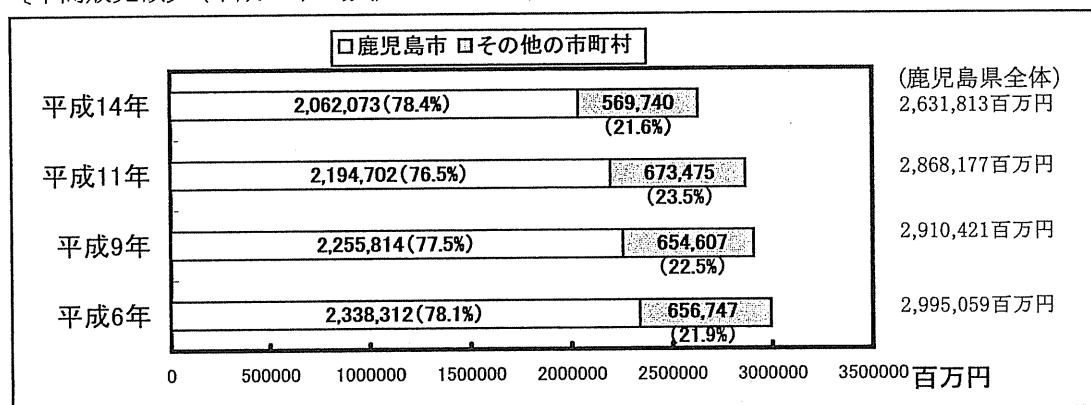
[事業所数] (平成14年の数値については、平成16年11月1日合併後の鹿児島市域のもの)



[従業者数] (平成14年の数値については、平成16年11月1日合併後の鹿児島市域のもの)



[年間販売額] (平成14年の数値については、平成16年11月1日合併後の鹿児島市域のもの)



(3)小売業

ア 業種別割合

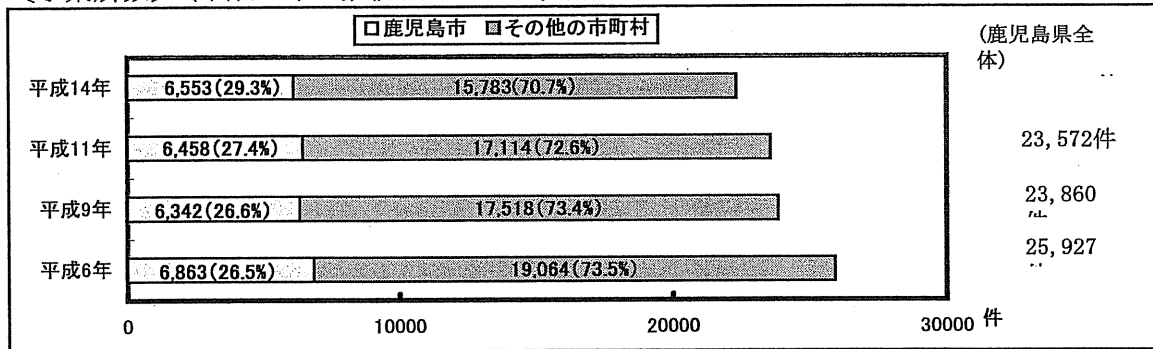
(数値は平成16年11月1日合併後の鹿児島市域のもの)

区 分	事業所数 (件)	構成比 (%)	従業者数 (人)	構成比 (%)	年間商品販売額 (百万円)	構成比 (%)
各種商品	18	0.3	2,875	7.1	112,694	16.0
織物・衣服・身の回り品	872	13.3	3,583	8.8	49,073	7.0
飲食料品	2,314	35.3	14,988	36.8	203,437	29.0
自動車・自転車	543	8.3	3,222	7.9	93,048	13.2
家具・じゅう器・機械器具	594	9.1	3,400	8.4	73,724	10.5
その他	2,212	33.7	12,627	31.0	170,569	24.3
計	6,553	100.0	40,695	100.0	702,545	100.0

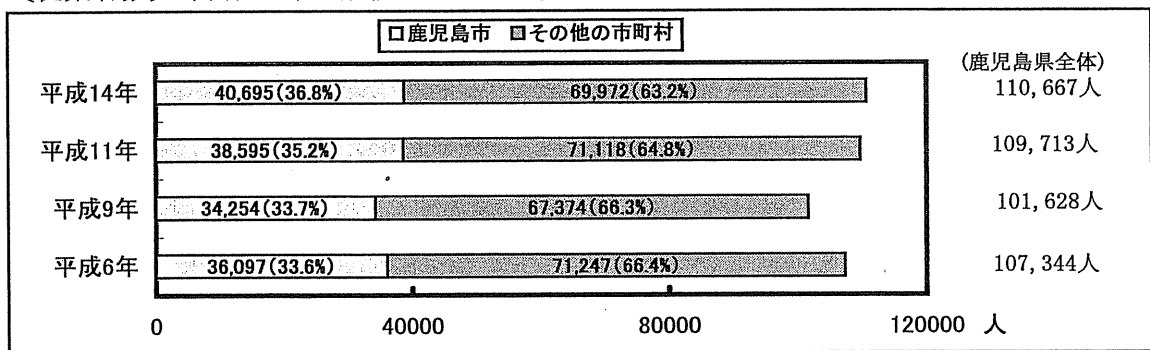
資料:平成14年商業統計

イ 県に占める市の割合の推移(小売業)

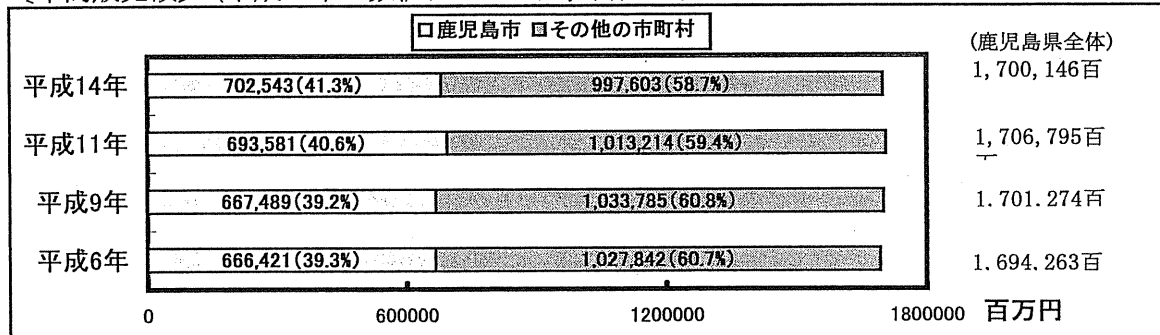
[事業所数] (平成14年の数値については、平成16年11月1日合併後の鹿児島市域のもの)



[従業者数] (平成14年の数値については、平成16年11月1日合併後の鹿児島市域のもの)



[年間販売額] (平成14年の数値については、平成16年11月1日合併後の鹿児島市域のもの)



ウ 大規模小売店舗立地法の対象店(店舗面積上位20位)

平成20年4月1日現在

順位	店舗名	所在地	店舗面積 (㎡)	開店日
1	イオン鹿児島ショッピングセンター	東開町7外	43,000	H19.10
2	山形屋	金生町3-1	30,328	T6.6
3	アミュプラザ鹿児島・フレスタ鹿児島	中央町1-1	20,753	H16.9
4	鹿児島ショッピングプラザ (ダイエー鹿児島店)	鴨池二丁目26-1	20,420	S50.7
5	オプシアミスミ	宇宿二丁目314外	18,300	H19.11
6	西鹿児島駅東口10番街区市街地再開発 ビル(ダイエー鹿児島中央店)	中央町10	17,124	H11.6
7	鹿児島三越	呉服町6-5	14,665	S11.6
8	フレスポジャングルパーク	与次郎一丁目2295-4外	13,770	H18.10
9	スクエアモール鹿児島宇宿	宇宿二丁目2-18	12,141	H18.9
10	ダイエー鹿児島谷山店	南栄五丁目10-51	11,100	H8.3
11	ホームプラザナフコ谷山店	下福元町6723-2外	10,399	当初 H13.1 変更後 H19.10
12	エヌ・シティ(ニシムタ谷山店)	卸本町5-35	9,600	H12.11
13	サンキュー新栄店	新栄町185-80	7,258	H13.8
14	中央温泉ショッピングビル (デオデオ鹿児島本店)	小松原一丁目6-24	7,225	S56.6
15	ディスカウントスーパービッグツー	宇宿二丁目14-6	6,825	S63.11
16	ニトリ鹿児島南栄店	南栄一丁目2-1外	6,680	H18.11
17	ファミリープラザめいわ	明和一丁目25-1	5,998	H4.6
18	鹿児島アーバンポート21市場館	小川町10-1	5,442	H2.10
19	ホームマートニシムタ伊敷ニュータウン店	伊敷町1275外	5,000	H6.8
20	コマースヤルモール東開町	東開町4-12	4,750	H19.12

市企業振興課作成

(4) 飲食店

ア 業種別割合

(単位:店、人、%)

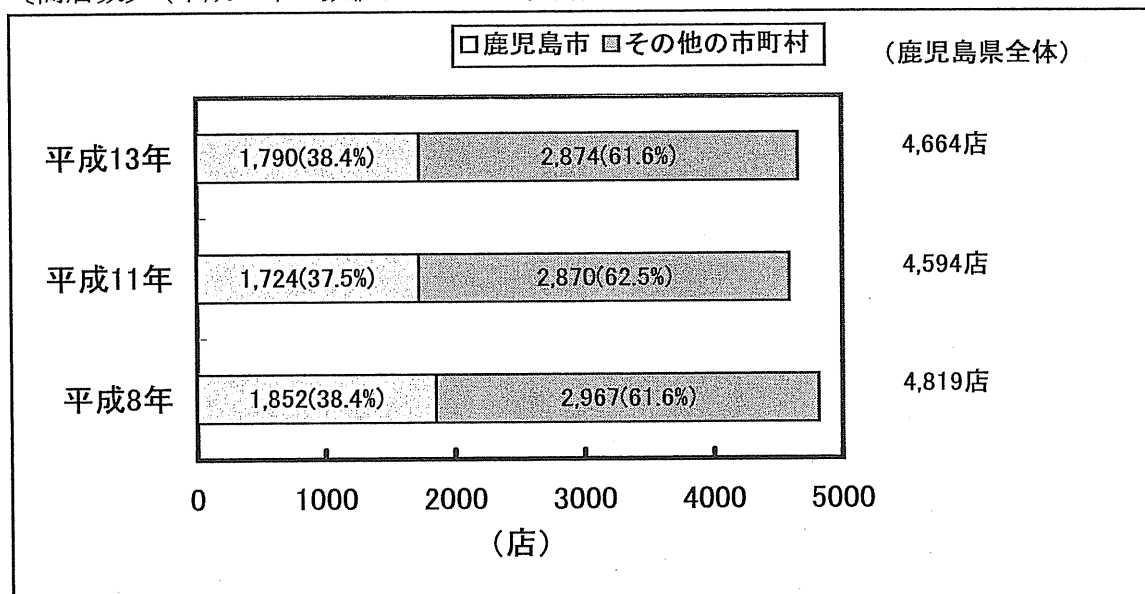
区 分	商 店 数				従 業 者 数			
	実数 (H16)	実数 (H18)	構成比 (H18)	前回比 (H18/16)	実数 (H16)	実数 (H18)	構成比 (H18)	前回比 (H18/16)
一般食堂	351	355	21.3	1.1	2,740	3,021	23.3	10.3
日本料理店	176	179	10.7	1.7	1,654	1,693	13.0	2.4
西洋料理店	112	130	7.8	16.1	1,074	1,236	9.5	15.1
中華料理店	291	271	16.2	▲ 6.9	1,588	1,683	13.0	6.0
焼肉店(東洋料理のもの)	77	85	5.1	10.4	1,165	1,127	8.7	▲ 3.3
そば・うどん店	78	84	5.0	7.7	790	837	6.5	5.9
すし店	166	142	8.5	▲ 14.5	1,086	950	7.3	▲ 12.5
喫茶店	327	312	18.7	▲ 4.6	1,294	1,302	10.0	0.6
ハンバーガー店	25	26	1.6	4.0	552	611	4.7	10.7
お好み焼店	51	49	2.9	▲ 3.9	128	134	1.0	4.7
その他の一般飲食店	42	37	2.2	▲ 11.1	334	387	3.0	15.9
計	1,696	1,670	100.0	▲ 1.5	12,405	12,981	100.0	4.6

※ ▲はマイナスを示す。

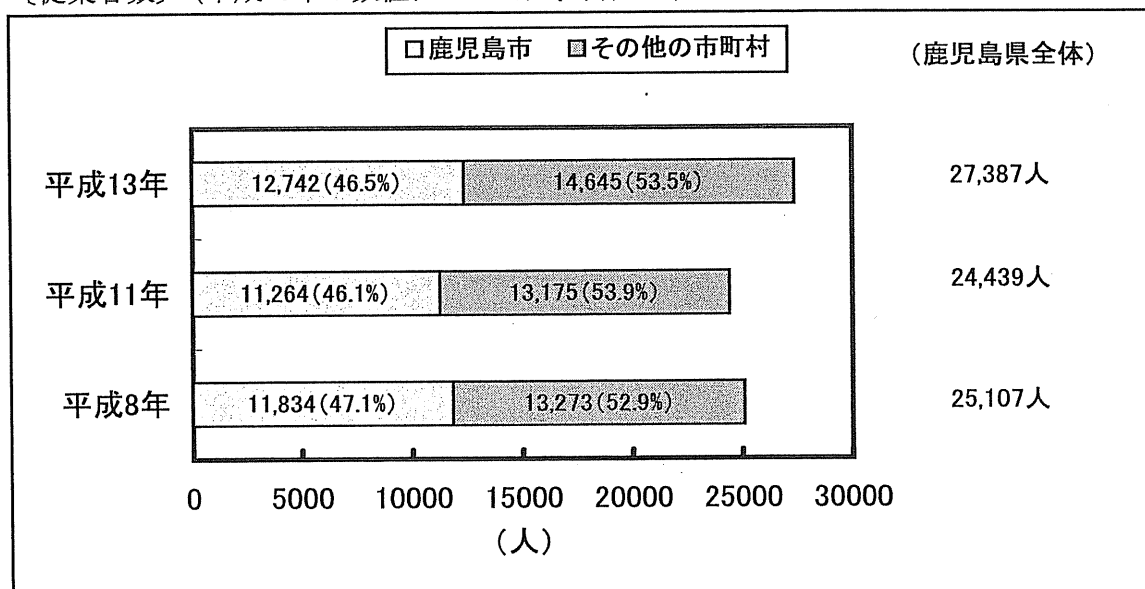
資料:平成19年度鹿児島市統計書

イ 県に占める市の割合の推移(飲食店)

[商店数] (平成13年の数値については、平成16年11月1日合併後の鹿児島市域のもの)



[従業者数] (平成13年の数値については、平成16年11月1日合併後の鹿児島市域のもの)



5 工業の現況

(1) 製造業

ア 県に占める市の割合(従業者4人以上)

	事業所数	従業者数(人)	製造品出荷額等(万円)
鹿児島市	621	14,054	31,168,927
鹿児島県	2,599	75,473	183,444,667
県内シェア(市/県)	23.9 %	18.6 %	17.0 %

資料:平成18年工業統計

イ 推移(従業者4人以上)

(平成15年の数値については、平成16年11月1日合併後の鹿児島市域のもの)

	事業所数		従業者数		製造品出荷額等	
		対前年比	(人)	対前年比	(万円)	対前年比
平成11年	722	94.3	14,713	96.3	46,419,131	100.7
平成12年	703	97.4	14,848	100.9	43,904,584	94.6
平成13年	645	91.7	14,306	96.3	42,255,753	96.2
平成14年	584	90.5	12,718	88.9	39,836,175	94.3
平成15年	697	119.3	15,034	118.2	41,596,297	104.4
平成16年	661	94.8	14,991	99.7	41,802,908	100.5
平成17年	659	99.7	14,650	97.7	33,918,373	81.1
平成18年	621	94.2	14,054	95.9	31,168,927	91.9

資料:平成18年工業統計

ウ 業種別事業所数、従業者数および製造品出荷額等一覧(従業者4人以上)

業 種 分 類	事業所数	構成比(%)	従業者数(人)	構成比(%)	製造品出荷額等(万円)	構成比(%)
食料品製造業	177	28.5	6,520	46.4	13,789,773	44.2
飲料・たばこ・飼料製造業	35	5.6	776	5.5	7,982,750	25.6
繊維工業	20	3.2	321	2.3	240,540	0.8
衣服・その他の繊維製品製造業	33	5.3	418	3.0	253,805	0.8
木材・木製品製造業	27	4.3	310	2.2	474,053	1.5
家具・装備品製造業	41	6.6	332	2.4	346,299	1.1
パルプ・紙・紙加工品製造業	7	1.1	205	1.5	366,255	1.2
印刷・同関連業	73	11.8	1,464	10.4	2,022,513	6.5
化学工業	5	0.8	215	1.5	723,118	2.3
石油製品・石炭製品製造業	5	0.8	53	0.4	X	X
プラスチック製品製造業	4	0.6	117	0.8	224,587	0.7
ゴム製品製造業	1	0.2	13	0.1	X	X
なめし革・同製品・毛皮製造業	—	—	—	—	—	—
窯業・土石製品製造業	45	7.2	648	4.6	910,181	2.9
鉄鋼業	7	1.1	78	0.6	189,485	0.6
非鉄金属製造業	—	—	—	—	—	—
金属製品製造業	53	8.5	1,165	8.3	1,787,203	5.7
一般機械器具製造業	18	2.9	326	2.3	466,762	1.5
電気機械器具製造業	13	2.1	226	1.6	304,590	1.0
情報通信機械器具製造業	—	—	—	—	—	—
電子部品・デバイス製造業	6	1.0	309	2.2	115,586	0.4
輸送用機械器具製造業	5	0.8	107	0.8	303,369	1.0
精密機械器具製造業	5	0.8	77	0.5	59,536	0.2
その他の製造業	41	6.6	374	2.7	418,781	1.3
計	621	100.0	14,054	100.0	31,168,927	100.0

資料：平成18年工業統計

(2) 地場産業

地場産業は、地域の資源や伝統技術を活用して、地元資本を中心に産地を形成し、地域の特性を生かした特産品を生産しているものである。

本市の主な地場産業としては次のようなものがある。

ア 焼 酎

平成9年から4回にわたる焼酎税率の引き上げがあつたにもかかわらず、近年の低価格・健康志向のニーズに加え、ブランド焼酎をはじめとした多種多様な商品構成が消費者に受け入れられた結果、首都圏を中心に県外の消費が伸びてきているが、普及率の上昇に伴い、出荷量の前年比伸び率は低くなってきている。

平成18年における従業者4人以上の市内の事業所数は4、製造品出荷額等は約36.3億円（前年比36.6%減）である。

イ 本場大島紬

約1300年の伝統を誇り、古代染色の技法を今日に伝える唯一の伝統織物である。着物離れが進む中で、全国の和装産地同様厳しい状況にあり、従事者の高齢化、後継者不足も深刻である。こうした中、業界では、販路開拓に向けた各種イベントを開催するなど、宣伝事業を拡充している。

平成18年における従業者4人以上の市内の事業所数は14、製造品出荷額等は約7.1億円（前年比23.5%減）である。

ウ 薩摩焼

約400年の歴史をもつ薩摩焼は、白薩摩と黒薩摩に大別される。市内に約70の窯元があるが、伝統的な白薩摩の需要は伸び悩み、生活の器、趣味の器的な製品が好まれる傾向にある。薩摩焼は、平成14年1月に国の伝統的工芸品としての指定を受けたが、指定を受けたメリットをどう生かすかが課題となっている。

平成18年における従業者4人以上の市内の事業所数は7、製造品出荷額等は約1.6億円（前年比29.8%減）である。

エ 竹製品

鹿児島は孟宗竹の伝来の地であり、伝統的な技術である竹編組の製品が製作されてきたが、従事者の高齢化、後継者不足により技術の伝承が危ぶまれている。

平成18年における従業者4人以上の市内の事業所数は3、製造品出荷額等は約1.5億円（前年比7.4%減）である。

オ 屋久杉製品

屋久杉は明治の中頃から、工芸品として利用されるようになり、この頃独特の加工法の研究により、現在の屋久杉工芸の基礎が築かれた。

屋久杉の伐採が禁止されている現在、原材料の確保が重要である。なお、屋久島は、平成5年12月、世界自然遺産として登録されている。

平成18年における従業者4人以上の市内の事業所数は11、製造品出荷額等は約4.1億円（前年比41.2%増）である。

6 観光の現況

(1) 宿泊観光客の推移

平成18年中に鹿児島市を訪れた宿泊観光客の総数は、前年に比べ12万3千人(前年比4.8%)増加し、昭和50年以降では最高の266万4千人(前年比4.8%増)となった。これは、コンベンションの開催回数や外国人宿泊者の増、新たなビジネスホテルの開業などによると考えられる。

内訳は、県外客が9万3千人、県内客が3万人増加している。

(単位:千人)

区分		年				
		平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
宿泊観光客数		2,404	2,329	2,539	2,541	2,664
県外客	国内	1,762	1,719	1,900	1,900	1,981
	外国	34	32	36	35	47
	計	1,796	1,751	1,936	1,935	2,028
県内客		608	578	603	606	636
対前年比		100.3%	96.9%	109.0%	100.1%	104.8%

※ 本市の主な宿泊施設は、平成19年1月1日現在で、施設数140軒、一日あたりの収容人員12,259人となっている。

(2) 月別宿泊観光客数

宿泊観光客数を月別で見ると、最も多かったのは、11月の25万5千人で、次いで5月、8月、3月の順となっている。逆に、少なかったのは、1月、4月、2月であった。

(単位:千人)

年 月	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年		
						構成比	対前年比
1月	184	180	183	185	194	7.3%	104.9%
2月	200	188	192	201	209	7.8%	104.0%
3月	209	211	221	221	235	8.8%	106.3%
4月	182	171	189	188	197	7.4%	104.8%
5月	218	210	227	231	243	9.1%	105.2%
6月	173	174	180	184	203	7.6%	110.3%
7月	199	194	224	218	221	8.3%	101.4%
8月	220	207	233	247	239	9.0%	96.8%
9月	191	180	208	213	221	8.3%	103.8%
10月	212	219	227	230	234	8.8%	101.7%
11月	231	223	241	227	255	9.6%	112.3%
12月	185	172	214	196	213	8.0%	108.7%
計	2,404	2,329	2,539	2,541	2,664	100.0%	104.8%

(3) 発地別宿泊観光客数

宿泊観光客数を発地別に見ると、九州地区(42.2%)が最も多く、次いで県内(23.8%)、関東地区(16.5%)と続き、この3地区で全体の8割を占めている。

(単位:千人)

年 発地	平成14年		平成15年		平成16年		平成17年		平成18年		
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	対前年比
北海道	32	1.3%	28	1.2%	28	1.1%	25	1.0%	25	0.9%	100.0%
東北	18	0.7%	18	0.8%	21	0.8%	20	0.8%	22	0.8%	110.0%
関東	350	14.6%	402	17.3%	445	17.5%	440	17.3%	440	16.5%	100.0%
北陸	26	1.1%	22	0.9%	22	0.9%	23	0.9%	31	1.2%	134.8%
中部	63	2.6%	70	3.0%	79	3.1%	71	2.8%	77	2.9%	108.5%
近畿	190	7.9%	163	7.0%	184	7.2%	178	7.0%	181	6.8%	101.7%
中国	54	2.3%	51	2.2%	63	2.5%	64	2.5%	61	2.3%	95.3%
四国	27	1.1%	24	1.0%	24	1.0%	23	0.9%	21	0.8%	91.3%
九州	1,002	41.7%	941	40.4%	1,034	40.8%	1,056	41.6%	1,123	42.2%	106.3%
外国	34	1.4%	32	1.4%	36	1.4%	35	1.4%	47	1.8%	134.3%
県内	608	25.3%	578	24.8%	603	23.7%	606	23.8%	636	23.8%	105.0%
計	2,404	100.0%	2,329	100.0%	2,539	100.1%	2,541	100.0%	2,664	100.0%	104.8%

(4)外国人観光客の状況

本市に宿泊した外国人観光客数は、47,052人(前年比36.2%増)となった。国別の内訳を見ると、韓国、香港の割合が高く、韓国、香港、中国、台湾のアジア近隣諸国で全体の62%を占めている。

(単位:人)

年	台湾		韓国		香港		アメリカ		中国		その他		合計	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	対前年比
8	10,015	32.9%	9,529	31.3%	3,405	11.2%	2,663	8.7%	-	-	4,834	15.9%	30,446	135.3%
9	13,433	28.5%	7,104	15.1%	19,383	41.1%	3,787	8.0%	-	-	3,425	7.3%	47,132	154.8%
10	8,188	12.9%	2,407	3.8%	43,681	69.0%	3,610	5.7%	-	-	5,446	8.6%	63,332	134.4%
11	3,255	8.9%	4,389	12.0%	19,826	54.2%	3,438	9.4%	-	-	5,672	15.5%	36,580	57.8%
12	3,214	7.2%	6,152	13.7%	23,966	53.4%	5,043	11.2%	-	-	6,519	14.5%	44,894	122.7%
13	2,456	5.6%	8,252	18.8%	21,364	48.6%	4,890	11.1%	1,672	3.8%	5,369	12.2%	44,003	98.0%
14	1,205	3.5%	10,155	29.5%	10,430	30.3%	3,855	11.2%	2,341	6.8%	6,437	18.7%	34,423	78.2%
15	1,586	5.0%	9,977	31.5%	6,934	21.9%	3,311	10.5%	1,445	4.6%	8,412	26.6%	31,665	92.0%
16	2,134	5.9%	11,147	30.6%	8,152	22.4%	3,039	8.4%	2,174	6.0%	9,723	26.7%	36,369	114.9%
17	1,761	5.1%	11,731	34.0%	5,265	15.2%	4,062	11.8%	2,091	6.1%	9,638	27.9%	34,548	95.0%
18	1,469	3.1%	18,570	39.5%	5,765	12.3%	4,225	9.0%	3,331	7.1%	13,692	29.1%	47,052	136.2%

(5) 入込観光客の状況

平成18年に本市を訪れた入込観光客数は、前年に比べ1万8千人(前年比0.2%)減の856万6千人であり、昨年とほぼ同水準の人数となった。内訳は、宿泊客が12万3千人増(前年比4.8%増)、日帰客が14万1千人減(前年比2.3%減)となっている。また、前年に引き続き、県外客が県内客を上回った。

(単位:千人)

区分	年	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18		
						構成比	対前年比	
入込観光客数		8,258	8,186	8,694	8,584	8,566	100.0%	99.8%
宿泊客		2,404	2,329	2,539	2,541	2,664	31.1%	104.8%
	県外客	1,796	1,751	1,936	1,935	2,028	23.7%	104.8%
	県内客	608	578	603	606	636	7.4%	105.0%
日帰客		5,854	5,857	6,155	6,043	5,902	68.9%	97.7%
	県外客	2,221	2,260	2,482	2,385	2,286	26.7%	95.8%
	県内客	3,633	3,597	3,673	3,658	3,616	42.2%	98.9%

(6)入込観光客数の推移

(単位:千人)

区分 年	合計		県外客			県内客		
		対前年比		構成比	対前年比		構成比	対前年比
元	7,076	106.0%	3,618	51.1%	106.8%	3,458	48.9%	105.1%
2	8,215	116.1%	4,334	52.8%	119.8%	3,881	47.2%	112.2%
3	8,378	102.0%	4,398	52.5%	101.5%	3,980	47.5%	102.6%
4	8,259	98.6%	4,390	53.2%	99.8%	3,869	46.8%	97.2%
5	7,355	89.1%	3,870	52.6%	88.2%	3,485	47.4%	90.1%
6	7,666	104.2%	3,949	51.5%	102.0%	3,717	48.5%	106.7%
7	7,747	101.1%	3,911	50.5%	99.0%	3,836	49.5%	103.2%
8	7,984	103.1%	4,104	51.4%	104.9%	3,880	48.6%	101.1%
9	8,054	100.9%	4,106	51.0%	100.0%	3,948	49.0%	101.8%
10	8,177	101.5%	4,047	49.5%	98.6%	4,130	50.5%	104.6%
11	8,227	100.6%	4,002	48.6%	98.9%	4,225	51.4%	102.3%
12	8,247	100.2%	3,945	47.8%	98.6%	4,302	52.2%	101.8%
13	8,253	100.1%	3,946	47.8%	100.0%	4,307	52.2%	100.1%
14	8,258	100.1%	4,017	48.6%	101.8%	4,241	51.4%	98.5%
15	8,186	99.1%	4,011	49.0%	99.9%	4,175	51.0%	98.4%
16	8,694	106.2%	4,418	50.8%	110.1%	4,276	49.2%	102.4%
17	8,584	98.7%	4,320	50.3%	97.8%	4,264	49.7%	99.7%
18	8,566	99.8%	4,314	50.4%	99.9%	4,252	49.6%	99.7%

ア 交通関係利用者数

項目	年度	17年度	18年度	19年度	対前年度増減(%)		備 考
シティビュー		184,179人	190,210人	206,442人	16,232人	(8.5% 増)	
市営定期観光バス		17,443人	17,047人	16,434人	▲ 613	(-3.3% 減)	

- ・ シティビューは、平成6年3月の運行後、6年度の187,441人をピークに15年度までは、15～17万人台で推移してきた。19年度は大河ドラマ放映開始と時期をあわせるように1月以降の利用者が伸び過去最高となった。
- ・ 市営定期観光バスは、平成16年11月から、それまでの1コースから2コース(かごしま歴史探訪コース、桜島自然遊覧コース)設定されており、17年度の利用者数は伸びたものの近年減少傾向である。

イ 観光関連施設入館者数

施設名	年度	17年度	18年度	19年度	対前年度増減(%)		備 考
維新ふるさと館		122,442人	138,707人	145,313人	6,606人	(4.8% 増)	
かごしま水族館		674,481人	666,346人	699,141人	32,795人	(4.9% 増)	

- ・ 維新ふるさと館は、平成6年4月の開館後、平成8年度の165,559人を最高に、概ね12～14万人台で推移してきた。
平成19年度は、対前年比6,606人 4.8%増となっており、18年3月のリニューアル及び大河ドラマ放映によるものと考えられる。
- ・ かごしま水族館は、平成9年5月の開館後、9年度の1,215,018人を最高に、概ね50～60万人台で推移してきた。平成19年度は、開館10周年記念イベント等により、70万人に近い高水準の利用者数であった。

ウ 市内主要ホテル宿泊者数

項目	年	17年	18年	19年	対前年増減(%)		備 考
宿泊者数		1,071,636人	1,193,335人	1,224,874人	31,539人	(2.6% 増)	⑰23施設 ⑱23施設 ⑲23施設

- ・ 19年は昨年に比べると、宿泊者数が前年比増のホテルが多く、宿泊者総数でも31,539人(2.6%)増となっており好調である。

(参考)

18年 前年に比べて宿泊者数が増加した施設数12 減少した施設11
19年 前年に比べて宿泊者数が増加した施設数14 減少した施設 9

IV 関係団体・機関・施設

1 主要関係団体・関係機関

団体・機関名	代表者	所在地	電話番号
鹿児島商工会議所	会頭 諏訪 秀治	〒892-8588 東千石町1-38アイムビル13・14階	225-9500
谷山商工会	会長 川田代 勝彦	〒891-0141 谷山中央4丁目4849	268-3576
吉田町商工会	会長 脇田 高德	〒891-1303 本城町647-5	294-2714
桜島町商工会	会長 武盛 秀幸	〒891-1415 桜島藤野町1493-1	293-2491
喜入町商工会	会長 淵田 攻	〒891-0203 喜入町7005	0993-45-2120
松元町商工会	会長 内 道雄	〒899-2703 上谷口町3211-8	278-1165
郡山町商工会	会長 福永 朋春	〒891-1105 郡山町6456-6	298-2435
鹿児島県商工会議所連合会	会長 諏訪 秀治	〒892-8588 東千石町1-38アイムビル14階	225-9500
鹿児島県商工会連合会	会長 森 義久	〒892-0821 名山町9-1県産業会館内	226-3773
鹿児島県中小企業団体中央会	会長 岩田 泰一	〒892-0821 名山町9-1県産業会館内	222-9258
(社)鹿児島県貿易協会	会長 諏訪 秀治	〒892-0821 名山町9-1県産業会館内	216-2555
日本貿易振興機構鹿児島貿易情報センター	所長 石田 靖博	〒892-0821 名山町9-1県産業会館内	226-9156
鹿児島県経営者協会	会長 吉富 信雄	〒892-0821 名山町1-3鹿児島ビル内	222-3489
鹿児島経済同友会	代表幹事 大野 芳雄 島津 修久	〒892-0821 名山町1-3鹿児島ビル内	222-4492
(社)鹿児島青年会議所	理事長 山口 隆徳	〒890-0016 新照院町41-1城山観光ホテル内	222-1342
(財)かごしま産業支援センター	理事長 吉留 史郎	〒892-0821 名山町9-1県産業会館内	219-1270
(社)鹿児島県工業倶楽部	会長 川崎 暢義	〒892-0821 名山町9-1県産業会館内	225-8012
鹿児島県商店街振興組合連合会	理事長 濱菌 義弘	〒892-0821 名山町9-1県産業会館内	223-2801
(社)鹿児島市商店街連盟	会長 福留 幸男	〒892-0842 東千石町5-17ステラビル4階	223-4377
(社)鹿児島県特産品協会	理事長 伊藤 祐一郎	〒892-0821 名山町9-1県産業会館内	223-9177
鹿児島県酒造組合	会長 本坊 喜一郎	〒892-0836 錦江町8-15	222-2678
鹿児島県茶商業協同組合	理事長 下堂 豊	〒891-0122 南栄3丁目11	268-6181
(財)鹿児島観光コンベンション協会	理事長 森 博幸	〒890-0053 中央町10キャンセ7階	286-4700
(社)鹿児島県観光連盟	会長 金子 万寿夫	〒892-0821 名山町9-1県産業会館内	223-5771
谷山観光協会	会長 満田 定雄	〒891-0141 下福元町3785-1	268-2504
鹿児島市ホテル旅館組合	理事長 上村 美智雄	〒892-0821 名山町4-21-2階	222-0180
(社)日本旅行業協会九州支部鹿児島地区会	会長 石元 雅広	〒892-0842 東千石町2-12(クラットビル2階)	226-1515
鹿児島市社交業組合	理事長 谷川 洋造	〒892-0844 山之口町7-13-501	224-0466
鹿児島市タクシー協会	会長 羽仁 正次郎	〒892-0836 錦江町11-49	226-5966
(社)鹿児島県バス協会	会長 岩崎 芳太郎	〒890-0064 鴨池新町12-12-5階	252-8670
鹿児島県信用保証協会	会長 和田 正道	〒892-0821 名山町9-1県産業会館内	223-0271
職業訓練法人鹿児島市職業訓練協会	会長 森山 清隆	〒890-0014 草牟田2丁目36-39	226-0517
(株)まちづくり鹿児島	代表取締役社長 諏訪 秀治	〒892-0842 東千石町1-38アイムビル13階	805-1960
(財)鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンター		〒890-0053 中央町10キャンセ7階	285-0003
(社)鹿児島市シルバー人材センター		〒890-0061 天保山町1-1	252-4661
鹿児島公共職業安定所(ハローワークかごしま)		〒890-8555 下荒田1丁目43-28	250-6060
独立行政法人雇用・能力開発機構鹿児島センター		〒890-0068 東郡元町14-3	254-3752
独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構鹿児島障害者職業センター		〒890-0063 鴨池2丁目30-10	257-9240

2 関係施設

所管課	施設名	所在地	電話番号
商工総務課	鹿児島市職業訓練センター	〒890-0014 草牟田2丁目36-39 (鹿児島高等技術専門学校)	226-0517
	鹿児島市勤労者交流センター	〒890-0053 中央町10キャンセ7・8階	285-0003
	鹿児島市計量検査所	〒890-0061 天保山町1-1	256-5633
	鹿児島市雇用相談室	〒892-8677 山下町11-1 市役所東別館1階市民相談センター	216-1329
企業振興課	ソフトプラザかごしま	〒892-0821 名山町9-15	227-1214
	ソーホーかごしま	〒892-0815 易居町1-2 市役所みなと大通り別館6階	219-1750
	鹿児島市大島紬縮機センター	〒890-0067 真砂本町58-26	257-7234
	鹿児島市大島紬のり張りセンター	〒891-0123 卸本町4-2	267-7995
	鹿児島市竹産業振興センター	〒891-1231 小山田町9353	238-2338
観光振興課	西郷隆盛蘇生の家	〒892-0871 吉野町9798-1	
	有村溶岩展望所	〒891-1545 有村町952	
	鹿児島市維新ふるさと館	〒892-0846 加治屋町23-1	239-7700
	国民宿舎レインボー桜島・桜島マグマ温泉	〒891-1419 桜島横山町1722-16	293-2323
	桜島ユース・ホテル	〒891-1419 桜島横山町188-1	293-2150
桜島ビクターセンター	〒891-1419 桜島横山町1722-29	293-2443	

鹿児島市の商工観光概要

平成20年度版

平成20年5月発行

編集発行： 鹿児島市 経済局 商工観光部 かがしまプロモーション推進室
商工総務課
企業振興課
中心市街地活性化推進室
観光企画課
観光振興課

〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号

電話番号 (099) 224-1111 (代)

URL : <http://www.city.kagoshima.lg.jp/wwwkago.nsf>